

令和元年大磯町議会

9月定例会一般質問（9月12日・13日）

質問議員	質問事項（1日目）	答弁者
1 7番 鈴木たまよ議員 （80分） 9:05～10:25	1. 町の農業・漁業の活性化に対する町の取組みについて 地域経済を回すには、できるだけ地域内でお金を循環させることだと考える。そのためには大磯産の農産物・海産物を通じてより多くの町民に町の農業や漁業の重要性を訴える必要がある。また近い将来実現するであろう中学校給食を含めた学校給食全般のためにも、地域の農業・漁業への関わりは重要である。 そのために町でも様々な取組みを行っていると思うが、現在の状況とこれからの展望を問う。 2. 自伐型林業について 豊かな自然は大磯の最大の魅力と言っても過言ではないが、昨今では山の手入れが追いつかず、あちらこちらで荒れ果てた森林を目にする。またそのような環境下でイノシシの被害は拡大していると聞く。 昨年度から取組みが始まった自伐型林業が、今年度はフォーラムの開催や実務研修なども予定され、本格的な取組みが始まる。この取組みによって荒れた野山の環境が整い、イノシシなどによる被害が軽減することを期待したい。自伐型林業の取組みによる今後の中長期的な町の展望を問う。 3. 観光の環境整備について 昨年度、町は「新たな観光の核づくり」といった計画にのっとり観光施策を進めてきた。現在進行している「みなとオアシス」や「明治記念大磯邸園」といった事業から、町は今後も観光に力を入れていくものと考えている。 しかしながら一方で観光客の目線に立ったインフラの整備は遅れているように感じる。 観光環境の整備について現在の進捗状況と今後の予定を問う。	町 長 町 長 町 長

2 1 番 鈴木 京子議員 (80 分) 10 : 40～12 : 00	1. 6月に執行された大磯町議会議員選挙の結果の受け止め方は この度の大磯町議会議員選挙は、町政に対する候補者の姿勢が評価されたと考える。町民への説明不足、参画と協働の手応えのなさ、町民の同意の得られない予算計上を認める議会への不信感が如実に表れたのではないか。 町長は選挙結果をどう受け止め、町政に生かすのか問う。 2. 大磯恒道会から事業を承継した豊友会の運営はどうか 社会福祉法人豊友会の運営について、大磯町だけでなく九州からも相談が届く状況にある。町の実態把握と運営についての認識を問う。 3. 中学校給食はいつ実施されるか デリバリー方式の中学校給食が休止となってから2年が経とうとしているが、進め方が見えてこない。予算を持つ町長と、実施を考える教育委員会の考え方と今後の展開について問う。 4. 職員の働き方改革はどこまで進んだか 働き方改革の検証はどうなっているのか。仕事の質と量の課題は何か。正当な支払いは実行されているのか、改善点を含め問う。	町 長 町 長 町 長 教育長 町 長 教育長
3 13 番 玉虫志保実議員 (60 分) 13 : 00～14 : 00	1. 大磯町立学校の給食について質問する 学校給食は「福祉か教育か」と言われる中で、大磯町は今後どのように学校給食事業を進めるのか。小学校給食についてはどうか。中学校給食についてはどのように考えているのか。 2. 大磯町の緑、植生に関する町の考えを問う 大磯町では平成4年度に「大磯町緑のマスタープラン」が策定され、平成12年10月に公募による町民や学識経験者の参加による自然環境保全と緑化推進検討チームにより、「緑の基本計画」策定に向けての提言がまとめられ、町の豊かな自然環境を保全し、緑あふれる都市環境を育成、創造していくために「緑の基本計画」を策定した。この計画は具体的な都市の緑に関わる施策を総合的、計画的に推進していくことを目的とし、概ね20年後の西暦2020年を目標年次に定めている。目標年次を来年に控え、以下のことについて質問する。 (1) 計画の進捗状況は。 (2) 保全、活用等、今後の課題についてはどのように考え、進めるのか。 明治記念大磯邸園、大磯駅前広場周辺、学校、公園等の公共施設、旧東海道松並木敷、町道脇の緑、空き家等の町なかの緑についての対策は。また、里山についての対策は。 (3) 計画の実現に向けて、「パートナーシップによる計画づくり」、「多様な住民参加」、「人材の育成」の3つの取組みが必要と考えていたようだが、取組みの進捗は。また、今後はどう考え進めるのか。	町 長 教育長 町 長

4 3 番 竹内恵美子議員 (55 分) 14 : 15～15 : 10	1. 移住・定住対策の取組みについて 次期総合計画の策定に向け、「10 年後の大磯町を考えよう」と題した卓話集会が 7 月から始まり、今後本格的な策定作業が開始されると思うが、今全国的な人口減少や少子高齢化など大きな課題に対し、移住・定住に向けた対策への取組みなどは避けては通れない課題だと考える。 石神台では、「100 歳まで安心」をスローガンに掲げ、特別委員会を立ち上げている。 新たな総合計画においても移住・定住への対応は重要であると考えているが、町の今後の対策や対応等の考えを伺う。 2. 大磯町教育研究所の進捗状況について 大磯町教育研究所の場所が決まり、実施設計ができ、いよいよ改修ができたなら中身を考える時期だと思う。 (1) どのような専門家が必要か。 (2) どのような内容を目指すのか。	町 長 町 長 教育長
---	---	-------------------------------

5 9 番 二宮加寿子議員 (70 分) 15 : 25 ~ 16 : 35	1. プラごみゼロに向けた環境対策への取組みについて 国や県の制度や政策などに対し、町は毎年要望書を提出しているが、今年度の要望に含まれている「海岸漂着ごみ処理への支援」の要望は、海岸漂着ごみの財政措置を含めた支援制度の確立とともに、プラスチック製品やレジ袋の使用抑制などを県主導により一体的に取り組むことで、県全体で削減の取組みを推進させてほしいとの内容であった。 大磯町では、既に持続可能な社会を目指すSDGsの具体的な取組みの一環となる「かながわプラごみゼロ宣言」の趣旨に賛同して、廃棄されるプラごみゼロを目指し、県と連携した取組みを進めている状況であるが、プラごみ発生抑制に向けさらに一歩進み、プラの使用廃止など、先進自治体を目指した取組みなどを進めていく考えなどはないか伺う。 2. 新たな産業創出への取組みについて 大磯町にある豊かな自然の源でもある森林環境の保全、また農業振興や産業振興、地域の担い手の創出などを目的に取組みを進めている“自伐型林業”については、この8月に「自伐型林業推進フォーラム in 大磯」も開催された。この自伐型林業への取組みは、SDGsの取組みで、町が目指す新たな産業づくりの点に合致したものと思われるが、事業の進捗状況並びに今後の展望を伺う。 3. 大磯町の災害対策への取組みについて 今年も既に台風による被害が発生しており、8月に発生した台風10号は関東地方には大きな影響などはなかったものの、西日本においては大きな混乱や被害などが発生し、事前の備えの重要性を改めて思い知らされたところである。 大磯町においても様々な事前の備えなどの取組みを自助・共助・公助の観点から進めていることは承知しているが、特に夏の暑いシーズンに発生する台風などがもたらす災害の備えという点では、指定緊急避難場所や指定避難所の環境面における対策は必要であると考えます。 避難場所の環境面での現在の対応状況と今後の環境改善への考えなどについて伺う。	町 長 町 長 町 長 教育長
---	---	--

6 5 番 清田 文雄議員 (45 分) 16 : 50 ~ 17 : 35	1. 町の農業振興について 平成 29・30 年度、町長は施政方針において重点項目の一つとして「農業」を挙げ、農地有効活用に向け、新規就農希望者への農地貸借の支援の継続等の施策を行ってきた。また、平成 31 年度は重点項目の経済で農業の振興を挙げ、認定農業者の経営安定の支援を行うとしているが、現在までの振興政策の成果と進捗状況、これからの展望について質問する。 (1) 認定農業者数・新規就農者数・耕作放棄面積などの状況は。 (2) 新たに耕作放棄地や遊休農地の活用は図られたのか。 (3) 「大磯農業振興地域整備計画」の見直しが行われ、昨年業務委託が終了したが、その後の動きは。 (4) 鳥獣害対策について。 (5) 大磯港賑わい交流施設の完成に向け、農業の 6 次産業化に向けた具体の動きは。	町 長
--	---	------------

質問議員	質 問 事 項 (2 日 目)	答 弁 者
7 15 番 柴崎 茂議員 (80 分) 9 : 00 ~ 10 : 20	1. 社会福祉法人「おおいそ福祉会」との裁判での本質的問題とは 去る町議会選挙の直前の 6 月 21 日に判決の出た、大磯町が提訴したおおいそ福祉会の件で、そもそもなぜかかる事態になったのか。何が問題であったのか。 2. 社会福祉法人大磯町社会福祉協議会の軽自動車税は返還されたか 3. タウンニュース 6 月 14 日号 (大磯・二宮・中井版) のいけと一新聞は本当か いけと一新聞によれば、県道 63 号線、通称大磯—伊勢原線の国府地下道の冠水はこれではなくてというが、本当か。	町 長 町 長 町 長
8 2 番 石川 則男議員 (80 分) 10 : 35 ~ 11 : 55	1. かたつむりの家に対する経過と今後の方針について (1) 2019 年 1 月に出された横浜地方裁判所小田原支部 (以下、「裁判所」という。) の和解案を拒否した理由と議会に諮らなかった理由を説明いただきたい。 (2) 2019 年 6 月 21 日に出された裁判所の判決について、大磯町横溝千鶴子記念障害福祉センターは町の行政財産であること及び現状の使用貸借契約は無効としたにも関わらず、「現時点における権利の濫用」とされた理由をどう考えているか。 (3) 2019 年 7 月 2 日に裁判所の判決に対する「控訴」の記者発表をした。これまでいかに施設利用者及びその家族に不安を与えたかを顧みず、「控訴」を決定したことは障害者福祉団体に対する配慮のかけらもない大磯町の姿勢に強い憤りを覚える。 私は社会福祉法人おおいそ福祉会への控訴を取り下げ、双方が土地や移転資金の確保に向け協力して 1 日も早い移転が実現することを期待しているが、今後、社会福祉法人おおいそ福祉会に対し、どのように対応する方針か。 2. 大磯港賑わい交流施設の整備について (1) 本年度の 3 月議会において「大磯港みなとオアシス推進事業」の予算約 3 億 5 千万円が承認された。入札の結果約 6 千万円予算を下回った。しかし、9 月の議会にその 6 千万円を変更契約するとして議会に説明があった。 そこで改めてこの事業の採算性について確認したい。このような経済活性化に向けた事業には民間企業で行われている投資採算性が問われるべきと考える。大磯港の特色を生かした事業になっているのか。大磯港に水揚げされる漁獲量は周辺漁港に比べ量及び特色はどのように把握されているか。 (2) 投資採算性について、町に入ってくる賃料及び販売計画から得られる金額と施設維持費にかかるコストの結果、初年度から 5 年間、各年度毎に幾ら回収でき、何年間で投入した税金全額を回収できるのか。	町 長 町 長

	3. 大磯駅周辺安全・安心にぎわい創出事業について (1) 多くの町民の方から駅への送迎が現状の町の案では利用しづらくなるといふ声を聞いている。9月に町民説明会を開かれるとのことで、とてもいいことだと思う。町が示した案はどういう点で優れているのかしっかり町民に説明していただきたい。そして町民の方々の意見をしっかり聞いていただきたい。幾つかの場所で少なくとも3回ずつは説明と意見交換を2時間半から3時間行って、町民の納得度を高めるべきと考える。この事業の目的及び説明会の所要時間・回数についての考えは。 (2) 町のホームページには概算費用約4億4千万円と載っている。先日の総務建設常任委員会協議会で町から説明のあった中で、大きな税金をかけるのをやめて、現状に白線の引き直し、自転車の矢羽根の明示や舗装等のメンテナンス、モニュメントの南側を一方通行にする、駅正面の横断歩道付近のUターン禁止、タクシーの待機を1列にすること等で大幅に安全性が向上することと考える。 これは今春通勤時間帯に2時間、約2カ月間半、毎朝駅前の交通の流れを見てきた中で実感したものである。上記施策内容で幾らの税金投入が必要と考えるか。	町 長
9 10 番 渡辺 順子議員 (80 分) 13:00~14:20	1. 環境政策の展望は 中崎町長は県政会神奈川県議会議員団が行った神奈川県来年度予算編成に向けたヒアリングで、プラスチック製品やレジ袋の使用抑制、海岸漂着ごみ処理に対する財政措置を含めた支援体制を要望したことを8月16日発行のタウンニュースで知った。 プラスチックごみによる海洋汚染の対策は地球規模の問題になっており、自治体に取り組まなくてはならない喫緊の課題であり、地球温暖化をはじめとする環境対策の一つである。そこで町長には、県への要望の意図と大磯町の環境政策の展望を伺う。 2. 大磯町公共施設等総合管理計画や大磯町行政経営プランの変更予定は 大磯町公共施設等総合管理計画や第1期個別施設計画には大磯港賑わい創出施設や明治記念大磯邸園で取得する緑地など進行形の事業は含まれていないが、今後大磯町公共施設等総合管理計画などを変更する予定はあるか。また大磯町行政経営プランについてはどうか。本庁舎建替や大磯中学校3号館の大規模改修は計画通りに進むのか。 3. 大磯駅前広場の整備は改めて検討すべきではないか 大磯駅前整備については去る8月8日の総務建設常任委員会協議会において、広場東側の民間所有地を計画区域に含めることになったと説明を受けた。 検討内容の条件が大きく変わったことになる。A案の修正ではなく、自治基本条例に基づいて改めて検討すべきと考えるが。	町 長 町 長 町 長

10 8 番 奥津 勝子議員 (45 分) 14 : 35～15 : 20	1. 町の防災対策について 毎年 9 月は特に防災に関心を強く持つ月である。この夏もあちこちに起こった地震の発生は昼夜を問わない。また大雨等も同様である。 (1) 夜間の災害に備えた防災訓練は。 (2) 「大雨警戒レベル」等の防災情報は。 (3) 資格取得が広がっている防災士への働きかけは。	町 長
11 6 番 吉川 諭議員 (55 分) 15 : 35～16 : 30	1. 大磯町の子育て・教育行政について 大磯町の子育て・教育行政について以下の点を質問する。 (1) 待機児童対策及び子育て支援政策の現状と今後について ①待機児童の現状について問う。 ②10 月以降の「幼児教育・保育の無償化」との関係について問う。 ③町独自政策である「第 2 子以降保育料無償化」について問う。 (2) 小児医療費助成の現状と今後について わが町の小児医療費助成の現状について問う。 (3) 教育行政の現状と今後について ①教育予算は十分に確保されているか。 ②コミュニティ・スクールについて問う。 ③中学校給食の今後について問う。	町 長 教育長

12 12 番 飯田 修司議員 (60 分) 16 : 45 ~ 17 : 45	1. こんな旧吉田茂邸を造ってしまった神奈川県に事情を説明させるべきでは 旧吉田茂邸は大磯町の観光の目玉であり、町民の誇りである。 旧吉田茂邸の建築内訳の木工事において、図面仕様書と大きく異なり、内装管柱はすべてシート貼りであり、悪いことに2階の管柱10本程度は築1年後に交換した跡があり、構造上不適切な処理がみえる。 大磯町は建築工事を神奈川県に依頼したそうだが、神奈川県に見解を求め、事情を説明させるべきではないか。 2. 町の介護認定に問題がないか 特別介護老人ホームのケアマネジャーと町の介護認定員によって作成した認定書類に偽りの記載がされたために介護認定に大きなミスが発生した。 介護認定者（本人）は再度同じ認定員に調査依頼をしたが町のほうで拒否された。また、書類の開示を求めたが拒否され、ミスの発生も認めなかった。 このようなことに真摯に対応できない町の福祉行政では信頼がおけないが。 3. 今、町民の関心の高い案件5つを問う (1) 大磯港賑わい交流施設は漁協と指定管理者との話し合いはできているのか。 (2) 明治記念大磯邸園の借金返済の計画について。 (3) 駅前計画は町民の希望に沿っているか。 (4) マリア道の整備目的は何か。 (5) 中学校給食の実施スケジュールは。	町 長 教育長 町 長 町 長 教育長
--	---	--

12名 29問

時間は、事情により変更になる場合がありますのでご了承ください。